

事業報告書

【センパイ起業家から聞く！想いをカタチに、私らしい起業のヒント】

日時	令和3年12月4日（土）14：00～17：00
目的	沖縄県は、様々な状況に置かれた女性が多様な就業を可能にする環境の整備に向けて、第5次沖縄県男女共同参画計画～DEIGOプラン～で女性起業塾実施事業を掲げている。 本講座では、起業を希望しているものの「自分にもできるのか」「何からどう始めたらよいか分からない」と感じている女性を主な対象とする。県内で起業をしている先輩起業家3名を講師に招き、起業に関するライフストーリーを聞いた後、講師を交えた受講生同士の交流の機会を提供し、起業の具体化及び仲間づくりを支援する。
対象	関心のある方
講師	茶谷 千秋 氏（南ノ島の福朗まん 代表）、大城 夕紀 氏（ペタルーナ オキナワアロマ 代表）、喜屋武 文子 氏（きたなか荘弁当 代表）
会場	沖縄県男女共同参画センターていりる3階 研修室1・2
定員	20名〔定員に達し次第締切〕
参加者数	22名（うち男性2名）
講演内容 （概要）	<p>パート① 3名の講師による講話</p> <p>3名の講師に、起業に関するライフストーリーを30分ずつご講話いただいた。</p> <p>（1）茶谷 千秋さん（南ノ島の福朗まん 代表）</p> <p>会社勤務を辞め、現在のお店を開業するまでを振り返り、起業のアドバイスをを行った。茶谷さんはご自身の経験から、「10年先を見据えた事業計画づくり」の大切さを説いた。最後に、「走り出したら止まらない」と伝え、創業の際には情報を集め、行動することとともに、専門機関を利用してほしいと伝えた。</p> <p>（2）大城 夕紀さん（ペタルーナ オキナワアロマ 代表）</p> <p>事業を立ち上げるまでの経緯、事業開始後の失敗などを紹介。事業を継続するなかで、様々な失敗したことが事業の改善や発展につながったので、失敗を恐れずに取り組んで欲しいと語った。また、自身の持つ事業や商品へのこだわり、地域を大事にする想いを企業理念化したことを紹介、起業の際には企業理念を丹念につくることをアドバイスした。</p> <p>（3）喜屋武 文子さん（きたなか荘弁当 代表）</p> <p>地域を大事にした商品づくりを行うまでの、幼少期からのご経験をお話された。「歳だからと諦めないで、自分の好きを追求し、失敗は成功のもと、前向きに好きな事を一生懸命取り組んで」という力強いメッセージを受講者に送った。</p> <p>パート② 講師を交えた交流会</p> <p>3グループに分かれ、講師がそれぞれのグループを10分間ずつ訪れ受講者との交流を行った。グループにはよろず支援拠点様からのコーディネーターも加わり、受講者がパート①を聞いて疑問に思ったこと・さらに深く聞きたいことを尋ね、また講師にはさらに伝えたいことなどをお話いただき、講話にまつわる談議に花を咲かせた。</p> <p>パート③ よろず支援拠点による無料相談会（事前申込者対象）</p> <p>事前申込のあった5名の参加者を対象に、よろず支援拠点様による「起業に関する相談会」を行った。参加者は、マンツーマンで自身の悩みを熱心に相談していた。</p>

令和3年度 啓発学習事業 女性起業塾

参加者の声

- ・ 講師の方々の様々な経験談を聞くことができ良かったです。
- ・ 起業するまでの流れや、様々な失敗なども知れましたし、なによりも起業している方々のポジティブさが伝わってきました。
- ・ 何をやった方がいいのか、こんな失敗があった等、ありのままに話していただき良かったです。よろずさんを初めて知ったので今後利用したいです。
- ・ 交流会がとても良かったです。ファシリテーターの方がリードしてくれて話しやすかったです。
- ・ 業種はちがえど、共通点があったので勉強になりました。

(一部抜粋)



茶谷 千秋さん



大城 夕紀さん



喜屋武文子さん

写真



交流会の様子



相談会の様子

主催等

沖縄県・(公財)おきなわ女性財団